

ついつい、うっかりで『ストーブ火災』が起っています

タンクから漏れた灯油が引火

事例

住宅から出火し、台所の一部を焼いて1人が死亡した。
(平成20年3月 東京都)

原因

石油ストーブを消火せずにカートリッジタンクに給油したところ、カートリッジタンクのふたの締め方が不十分だったため、漏れた灯油が引火したものです。



給油は必ずストーブの火を消してから行ってください。また、カートリッジタンクのふたが確実に締まっているか確認してください。



ガソリンを誤給油して火災

事例

住宅から出火し、隣接する離れも全焼して1人が死亡した。(平成20年3月 愛媛県)

原因

ガソリンを灯油と間違っ
て石油ストーブに給油したため、異常燃焼を起こし
て火災に至ったものです。



ガソリンで異常燃焼を起こして発火したようす
(NITE再現実験)



石油燃焼機器にガソリンを使うと火災の原因になります。保管するときは、色違いの容器を使用するなど、灯油とガソリンがひと目で区別できるようにし、取り間違わないようにしてください。

石油ファンヒーターの前に置いたスプレー缶が爆発

事例

石油ファンヒーターを使用中、スプレー缶(殺虫剤)が破裂して、いすと布団を焼いて欄間に傷、天井に穴が空いて3人がやけどを負った。(平成19年11月 愛知県)

原因

石油ファンヒーター温風吹き出し口の約1m前方にスプレー缶を置いていたため、温風で加熱されて破裂したものです。

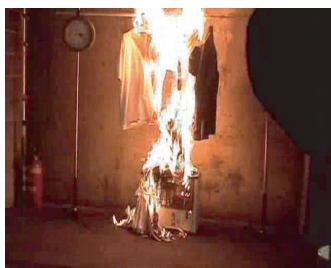


スプレー缶を暖房機などの温風が当たるところに放置すると、熱でスプレー缶の内圧が上がって爆発するので危険です。

洗濯物がストーブの上に落下して火災

事例

住宅から出火し、全焼した。(平成20年2月 埼玉県)



上部に干した洗濯物に引火するようす
(NITE再現実験)

原因

ガスストーブの上方に干していた洗濯物がストーブの上に落下し、火災になったものです。



ストーブの上部周辺で洗濯物を乾かさな
いでください。洗濯ばさみ等で留めたつ
もりでも、乾燥して軽くなった洗濯物が
上昇気流で外れて落下する危険性があります。

電気ストーブに布団が触れて火災

事例

住宅から出火して全焼し、1人が死亡した。(平成21年1月 群馬県)



原因

電気ストーブをつけたまま就寝したため、ふとんな
どの可燃物がヒーターに接触して火がついて出火した
ものです。



寝るときは必ず電源スイッチを切りま
しょう。電気ストーブをふとんなどから
離していても寝返りをうった時に接触し
てしまい火災になった事例もあります。

このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。